

# 緑のボランティア通信

2010.8.1

No.11

## 第6回 わがまち花と緑のコンクール 緑地部門と花壇部門の表彰式が開催される。



### 緑地部門の表彰式

平成22年5月16日(日)第61回全国植樹祭2010の、かわさきサテライト会場として生田緑地にて市民参加の「かわさき生田緑地植樹祭」が開催され、その中で緑地部門の表彰式が行われました。

緑地部門の表彰式には、二つの賞が設けられ里山景観賞に9団体、緑地パートナーシップ賞には5団体が受賞され、阿部市長から表彰状が授与されました。

なお、各賞の表彰にあたり東京農業大学の造園科学学科長の濱野周泰教授より、受賞の経緯や各団体の講評など、今後の活動への助言を頂きました。

天候にも恵まれて終始和やかな植樹祭会場となりました。

**里山景観賞：**「こもれびの会」「津田山緑地里山の会」「飛森谷戸の自然を守る会」  
中原市民健康の森」「早野聖地公園里山ボランティア」「日向山うるわし会」  
「まほろばの会」「野川はあも」「森もりクラブ」

**緑地パートナーシップ賞：**「麻生多摩美の森の会」「海風の森をMAZUつくる会」「木こりの会」  
「高津区市民健康の森を育てる会」「水沢森人の会」



### 主な内容

第6回わがまち花と緑のコンクールの開催(緑地部門)	1
(花壇部門)	2
協会ニュース	3
かわさき緑レンジャーがあなたの近くの緑地にも調査に伺います。	3
皆さんの活動を紹介します	4
雑学	4
写真	4
花と緑に関するQ&A	4

## 花壇部門の表彰式

平成22年6月12日(土)、幸市民館において「第6回わがまち花と緑のコンクール」花壇部門の表彰式が開催されました。この表彰式の企画・運営は、公募により選ばれた市民の方々に組織された「わがまち花と緑のコンクール運営委員会」によって行われました。

このコンクールには、私達の住む町の花と緑の優良な作品138件が勢ぞろいし、大賞・パートナーシップ賞・地域コミュニティ賞・四季彩賞や継続した花壇活動を行なっている作品に与えられる継続努力賞など、18件の個人や団体の皆さんが受賞を受けました。



### 個人部門 (敬称略)



👑 大賞 「隅 綱子」 👑



オープンコミュニティ賞「永倉和枝」



奨励賞「丹羽順子」



奨励賞「深沢秀子」



四季彩賞「澤田悦子」

### 団体部門 (敬称略)



👑 大賞 「川崎市立東高津中学校」 👑



奨励賞「花で町を飾る会 (オープンガーデン)」



地域コミュニティ賞「清水町ガーデニングクラブ」



パートナーシップ賞「さいわい花クラブ実行委員会」

## ガーデナー認定試験 **ファイナル**

かわさきガーデナーをめざして、ガーデナー認定試験にチャレンジしませんか。花と緑の知識を深めていただき、優れた成績を修めた方に「かわさきガーデナー」の称号を贈ります。

地域緑化の中心的な役割を担っていただき、みんなの力で庭園の中に町がある、そんな素敵な川崎市を作っていただくために皆様もチャレンジしてみませんか。試験日は10月23日（土）市立橘高校で行います。

ガーデナー認定試験の応募締切りは、9月30日（木）です。今年が最終回となりますので振るってチャレンジを！

## かわさき花と緑の活動団体交流会

日時：平成22年11月28日（日）

会場：川崎市高津市民館（ノクティ2）大会議室他

川崎市において緑地の保全や緑化推進活動をされている皆様の交流会が開催されます。交流会では、皆様の活動を紹介するとともに、花と緑の輪を広げてまいります。

メイン講演では、「まんが日本昔話」の語りでおなじみの常田富士男さんをお招きし、昔話にてくる花や緑のお話を聞いて、交流を深めたいと思っております。



まんが日本昔話

## こども黄緑クラブ

秋の「こども体験教室」受付中 11月6日(土)開催 **10月18日メ切り**

### 花壇の植替えと 落ち葉や押し花を使った こども花壇と紙すき

自然の中で思いっきり体を動かし、豊かなふさと川崎を体験します。

会場：川崎市緑化センター

対象：市内在住の在学の小学3年生から中学生

申込み：往復はがきに〒・住所・氏名・学校名学年

・電話番号・保護者氏名を明記し、

（財）川崎市公園緑地協会までお送りください。



7/24 虫むし博士

**春** こども花壇作り・写生会 6/5 **終了**

**夏** 虫むし博士 7/24 **終了**

**秋** こども花壇と紙漉 **今回**

**冬** 原木しいたけの駒打ち

7月24日緑化センターで、暑さにめげず沢山の虫探しをしました。セミの抜け殻からの種類分けや、カブトムシの育て方などを学びました。最後に、捕まえた虫をリリースしました。参加したこどもたちは、今まで以上に昆虫への興味を増したことでしょう。

お問合せ （財）川崎市公園緑地協会 緑の活動支援課 までお問合せください。

## かわさき緑レンジャーがあなたの近くの緑地にも調査に伺います。



市が保全している緑地を、安全で美しい里山として守り育てていくための調査や市民活動団体などへの助言を行うために、第2期「かわさき緑レンジャー」5名が、平成22年4月から活動しています。

レンジャーは緑地の状態の調査を行うために、様々な緑地に訪れますので、あなたの町の緑地に伺うかもしれません。見かけた際は、ぜひ気軽に声をかけてください。

また、緑地の管理についてなど、不安などがありましたら、相談内容に応じて助言や指導を行いますので、下記までお問合せください。

<建設緑政局緑政部緑政課 緑地保全係 まで>

電話：044-200-2381 FAX：044-200-3979

花と緑のQ&A 答：ミヨウガ

## 皆さんの活躍を紹介します

### 「花で町を飾る会」オープンガーデン 活動地区:宮前区菅生

宮前区の東名川崎インターから北へ進み、清水台を右折して蔵敷交差点を左に入ると、花と緑に飾られた家々が立ち並ぶ住宅街です。そこには平成13年、7自治会の有志約40名で発足した「花で町を飾る会」の活動があります。会の名は「花で町をきれいに飾りたい」とする会の思のとおり、「花飾会(はなかざりかい)」の愛称で地域に定着し、親しまれています。活動場所は、鷲ヶ峰子供の里公園・稗原小学校・平瀬川上流などの周辺花壇や消防署前の歩道花壇と範囲は広く、会員数も66名を擁しています。なかでも、会のメインステージとして四季折々の草花が咲き誇る110㎡のオープンガーデンは、会が誇れる素晴らしい庭園で、平成18年に続いて今年も「わがまち花と緑のコンクール」において、団体部門の奨励賞を受賞するなど、毎回コンクールの上位を独占する程です。



また、このオープンガーデンには、テーブルやベンチが置かれ、会の集いや園芸教室にも使われ地域の皆さんに利用されています。「花は種から育て植えるもの」花を愛する信念は、いつも町は明るく花が途切れることなく、町の防犯にも一役買うなど、地域の方々に喜ばれております。

## 雑学

### ゴーヤ (ニガウリ・ツルレイシ)

ゴーヤの原産地は熱帯アジアです。日本では南西諸島と南九州で多く栽培されています。今では、家庭菜園や窓の日よけを目的とした、ゴーヤによるカーテンも盛んに行われ、夏場の室温上昇を緩和し、エアコンの温度を控え、CO<sub>2</sub>排出量の削減にも効果的と言われています。

ゴーヤは、熟す前の果実を野菜として利用するウリ科の植物で、独特の苦味をもつことから「ニガウリ」とも呼ばれ、その果実をツルレイシと言います。ゴーヤは、「ニガウリ」を指す沖縄の方言ですが、農学系では、「ツルレイシ」・生物学では「ニガウリ」の名称を用いることが多く、日本各地にその地方名があるようです。食べても、その栄養価は高く、食欲増進と血糖値を下げる効果も期待されるなど、健胃効果のある苦味成分(モモルデシン)を含むことも知られています。その他、ビタミンCなどの水溶性ビタミン、カリウム、マグネシウム、カルシウムなど含まれ、種にはリノレン酸が豊富に含まれるなど、栄養バランスの良い健康食品として日本全国で栽培されています。



#### ゴーヤのカーテン



公園緑地協会事務所の窓を覆うゴーヤのカーテン



## 花と緑に関するQ & A



Q

原産地は東南アジア。地下茎で増え繁殖力の旺盛な植物です。日本の山野の木陰に自生しますが、農家の裏庭などで育てられています。独特の香りから、多くの食材や薬味として利用されています。俗に「食べると物忘れがひどくなる」と言われていますが、栄養学的にその様な成分は含まれておらず、逆に、香り成分に集中力を増す効果が知られています。特有の紅色を楽しみ、蕎麦、素麺などの薬味や、天ぷらや酢の物、味噌汁にもあい、和食の食材としても用いられる夏が旬の植物です。

1 タケノコ 2 オオバ 3 ミツバ 4 ミョウガ 5 シイタケ

※答: 3ページのすみに記載

発行・編集

(財)川崎市公園緑地協会 緑の活動支援課

〒211-0052 川崎市中原区等々力3-12  
電話 044(711)6631 FAX 044(744)8410